

住まい・まちづくり学習から始める持続可能な社会づくりの実践的プログラム開発

研究目的

21世紀の持続可能な社会づくりには、生活の基盤である住生活が安定的に営まれることが必須です。持続可能な社会における「住まい・住生活・住環境」づくりは、スクラップアンドビルドではなく現在あるものを使いこなし、再生しながら、構築していくことが求められる。本研究は、子どもから大人まで地域住民を対象に「住まい・まちづくり学習」による持続可能な社会づくりのための住まい・住生活の継承、再生、再構築していく営みを作る学習機会の創出とそのための実践的プログラムづくりを目的としています。

研究概要

地域の住まいまちづくり活動における「再生・継承」に関わる学習の多面的把握を行うため実態調査、また、学校教育での取り組みについても「再生・継承」に関わる学習の取り組みの実態、学習内容の変化について調査を行います。その上で「再生・継承」を横断的に盛り込んだ住まい・まちづくり学習のプログラム開発を行います。

今年度は、各研究機関ごとに地域の住まいまちづくり学習の実態調査を行いつつ、住まいまちづくりに取り組む地域への現地調査などを実施しました。

■ ゆうばり再生市民会議の活動分析

ゆうばり再生市民会議の活動と住まいまちづくりへの役割

- ・「命のバトン」の市民モニター事業
→ 救急医療への市民意識の向上
- ・「桜まっぴ」の作成活動
→ 主体的関わりの体験、地域の魅力の発見、文化の創造
- ・ゴミ分別や救急医療に関する学習会の開催
→ 地域課題の認識、住環境向上への意欲の形成

■ 調査対象となる地域の住まい・まちづくり活動例

- ① 街並み・民家の保存再生と住まい・まちづくり学習
- ② 地域のお祭りに見る住まい・まちづくり学習
- ③ 産業遺産による地域の再生とまちづくり学習
- ④ 町家再生における住まい学習
- ⑤ 学校の保存再生と建築・まちづくり学習



写真 歴史的街並み景観による地域再生事例調査
(大分県竹田市)

研究の成果

H22年度は人口減少の著しい夕張市で市民が取り組んでいるゆうばり再生市民会議について、その取り組みの調査の実施、そのほか歴史的街並み景観による地域再生事例の調査を行いました。今後さらに道内を中心に地域の住まい・まちづくりが地域の再生につながっている事例の調査を行う予定です。